



食欲の秋



平成25年9月号 タイトル 題字 1年 尾前見奈・曾和香央里

災害ボランティア活動体験

8月28日(水)

県社会福祉協議会と町役場のご協力によりボランティア活動を体験しました。防災への意識を高め、また災害時に地域の担い手として貢献できる高校生を育成することが目的です。

ボランティアセンターの南出考氏、藤野雅美氏、役場の大西隆仁氏、町社会福祉協議会職員の方々に来ていただきました。

まず、藤野氏より約30分「ボランティア活動の心得」として、全国の被災地での取り組みを画像で説明していただきました。

次に体育館へ移動し、実際の災害ボランティアセンターを想定した運営班と活動班6グループに分けられました。班長を中心にさまざまな「ニーズ」に答えられるよう活動しました。

「この体験を通してどれだけ人と人との助け合いが大切か、日々の備えが大切かを学びました。他人事だと思わず自分の事として人の役に立ちたいと思います。」(3年女子)「被災地の復興のためにはまだまだボランティアの助けが必要だという事、時間が経つにつれて人々の関心も薄れていくという言葉は忘れてはいけないと思いました。」(3年女子)「この活動は『してあげる』ではなく、『させていただく』という精神が素晴らしいと思いました。」(2年女子)「グループで活動したから、1・2年生ともコミュニケーションが取れるよい機会になったと思います。」(3年女子)



キャンドル・ライト・イルミネーションへ

9月6日(金)

悠仁さまの誕生日を祝うキャンドルライトイルミネーションに今年も生徒15名が参加しました。今年も天候にも恵まれ町内外から多くの見物人やカメラマンが集まりました。6時半から式典・点火式等のセレモニーであたりが薄暗くなったころ、各班に分かれ、畦道に並べられた竹灯籠や河川敷の文字に火を灯し、棚田のてっぺんから川辺に向けて徐々にイルミネーションが広がっていきました。棚田の下の川原にはキャンドルの火で「祝・悠仁さま7才」の文字と思いを込めた「時」「生」、棚田サミットの成功を願う「棚」の文字も浮かび上がりました。



1年生総合学習で稲刈り

9月9日(月)

残暑厳しい午後、地元の八幡小学校3・4年生(12名)と1年生(11名)があらぎ島で、稲刈りを体験しました。「暑い中やっただけ小学生と触れあえたよい機会となりました。」(男子感想)「『暑い・・・』と言いつつ楽しそうに頑張る小学生を見ると、とても楽しかったです。」「お米を作るのはすごく大変な事だと実感しました。手作業でやった方がよりおいしいお米になると思いました。」(女子感想)



高齢者福祉センター訪問

9月11日(水)

家庭部の生徒10名(2年生全員)が、高齢者福祉センターを訪問しました。フラワーアレンジメントを通して心の交流を図り、貼り絵(さいちゃん)や簡単な体操をして楽しいひとときを過ごしました。「来年もまた来てよ。」「痛いところあっても学生さん見たら忘れるわ」「毎年、楽しみにしています。きれいなお花をありがとうね」等の言葉をいただき、笑顔一杯の交流会となりました。



10月の行事予定

10/1	衣替え	10/9~11	中間考査	10/11	英検一次試験
10/16	タイ留学生来校	10/26	舞台発表(午前中)	10/27	文化祭

